

令和4年度 第3回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨

日 時 令和4年11月18日(金) 14:00~16:30

場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室

構 成 員 36名(出席者26名)

(出席者)

1号委員(琉大病院長)	大屋 祐輔
2号委員(県立中部病院長)	玉城 和光(代理出席:森 隆弘)
3号委員(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4号委員(沖縄県医師会長)	安里 哲好(代理出席:玉城 研太郎)
5号委員(沖縄県歯科医師会長)	米須 敦子
6号委員(沖縄県薬剤師会長)	前濱 朋子
10号委員(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11号委員(琉大がんセンター運営委員会委員長)	青木 陽一
13号委員(琉大薬剤部長)	中村 克徳
14号委員(琉大看護部長)	眞栄城 智子
15号委員(琉大事務部長)	加藤 善一
16号委員(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇(代理出席:吉田 幸生)
(那覇市立病院副院長)	宮里 浩
(那覇市立病院がん看護専門看護師)	東恩納 貴子
17号委員(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立八重山病院消化器内科部長)	菊池 馨
(県立八重山病院副院長)	石田 浩子
(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子
18号委員(NPO乳がん患者の会 ぴんく・ぱんさあ代表)	与儀 淑恵
(やいまゆんたく会(八重山のがん患者を支援する会)会長)	田盛 亜紀子
(サバイバーナースの会「ピアナース」代表)	上原 弘美
(パンキャンジャパン沖縄アフィリエイト)	島袋 百代
19号委員(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
20号委員(琉大病院病理部長)	和田 直樹
(県立中部病院放射線科副部長)	戸板 孝文

(欠席者)

2号委員(那覇市立病院長)	外間 浩
3号委員(県立宮古病院長)	岸本 信三
(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
7号委員(沖縄県看護協会会長)	平良 孝美
9号委員(沖縄県保健医療部長)	糸数 公
12号委員(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生
16号委員(県立中部病院副院長)	前田 純子
17号委員(県立宮古病院副院長)	新崎 博美
(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
19号委員(琉球新報取締役編集局長)	島 洋子

(陪席者)

小児・AYA部会	浜田 聡
緩和ケア部会	笹良 剛史
情報提供・相談支援部会	大久保 礼子
沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班	新垣 真太郎

(以下、Zoom傍聴申込)

株式会社ダイコー沖縄病院、ハートライフ病院、ほか

資料確認等

1. 令和4年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月3日開催)
2. 令和4年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事要旨(8月5日開催)
3. 令和4年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事録(8月5日開催)
4. 協議会・幹事会・部会委員について
5. 令和4年度の協議会・幹事会の開催の日時について

増田委員(10号委員)から資料及び議事要旨等について確認があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(19号委員)から資料6に基づき、がん対策のロジックモデルと指標による47都道府県と沖縄県のデータについて報告があった。

部位別の地域ごとの指標データの見方や、沖縄県の位置について説明があった。

続いて、分野別のロジックモデル例と指標データについて説明があった。

(主な確認事項)

Q.天野委員:部位別でいくつかのがん種を挙げてもらったが、沖縄県独特の事情で指標データに反映されていないことなどはあるのか。

A.増田委員:がん登録推進法が作成され、全ての病院は全国がん登録が義務付けられている。しかし、診療所に関しては登録の義務は無く、手上げ方式になっているため、都道府県によって差がある。

乳がんに関して、沖縄県では4つのクリニックで多くの乳がん患者を診ている。うち3つのクリニックは全国がん登録をしており、残り1つのクリニックについても今年登録することになっている。また院内がん登録についても4つのクリニックにお願いする予定である。

2. 天野委員報告

天野委員(19号委員)から、資料7に基づき、ゲノム法案について報告があった。

「良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするための施策の総合的な推進に関する法律」の早期成立に向けて、計185の団体等から要望する旨説明があった。

審議事項

1. 当協議会要項の変更について

増田委員(10号委員)から資料8に基づき当協議会要項の変更について説明があった。

がん診療連携拠点病院等の指定要件について、主に下記の5項目の変更があった。

- ① 拠点病院の定義を明確にした。
- ② 協議会のあり方を大幅に変更した。
- ③ がん相談支援センターに治療の開始前に訪問することが都道府県拠点病院は義務化され、地域拠点病院は努力目標になった。
- ④ 指定要件全体の項目を4分の3程度に減らしている。
- ⑤ 現況調査の項目を減らしている。

指定要件の変更に伴う当協議会要項の協議事項の改正案について説明があり、原案のとおり承認された。

2. がん診療連携拠点病院等の指定要件変更後の各病院の充足状況について

増田委員(10号委員)から資料9に基づき説明があり、指定要件変更後の各病院の充足状況について確認があった。

(琉球大学病院) 増田委員より、資料9-(2)P276のとおりA要件を満たしていない項目及び現状と対応策について、説明があった。

(那覇市立病院) 宮里委員より次のとおり報告があった。人員配置について、専従、専任の放

放射技師やそれ以外の職種についても専従要件がどうなっているのか等、Q&A等を確認しながら準備を進めていきたい。また、今回の届出を提出した後、沖縄県から診療実績について問い合わせがあり、薬物療法の患者数の算定の仕方等について、算定方法が少し変わっており、急遽数え直し等があり苦労した。

- (県立中部病院) 吉田委員代理より次のとおり報告があった。人員配置については問題なく充足している。しかし、がん相談支援センターで必要に応じてオンラインでの相談を受け付ける等の情報通信技術を活用している点が未充足となっている。今後はHP上でもZOOMでの面談も可能であることを周知し、利用しやすい環境を整備していく予定である。
- (県立宮古病院) 松村委員より次のとおり報告があった。緩和ケア研修会について、年内に1回開催と認識しており2月に開催していたが、沖縄県よりもう一度開催するようにとの依頼があったため、12月に開催予定である。沖縄県と年内なのか年度内なのか調整する予定である。
- (北部地区医師会病院) 諸喜田委員より次のとおり報告があった。指定要件は全てクリアしている。ただ、緩和ケアに関する医師の専従がギリギリなので、今後検討していく予定である。また、相談員についても要件は満たしているが、人数が少ないため、募集しているがなかなか集まらない状況である。
- (県立八重山病院) 石田委員から次のとおり報告があった。指定要件で未充足の項目が4点ある。1点目は、術後管理体制の一環としての手術部位感染に関するサーベイランスの実施がまだ出来ていない。人員配置を含めた実施体制の構築を検討している。2点目と3点目は、がん患者の自殺リスクに対し、院内で共通したフローを使用し、対応方法や関係機関との連携について明確にしているという点と、がん患者の自殺リスクに対し、対応方法や関係機関との連携について関係職種に情報共有を行う体制を構築しているという2点について、対応フローや情報共有の語り方について体制が明確化されていない部分が一部あるため、年度内を目途に準備する予定である。4点目は、院内の看護師を対象にしたがん看護に関する総合的な研修について、総合的な研修が出来ていないところもあったため、こちらも次年度に向けて取り組んでいけるように準備を進めていく予定である。

3. 働き盛り世代のがん死についての調査結果及び提案について

増田委員（10号委員）から資料10に基づき、働き方世代のがん死について説明があった。不十分なデータではあるが、働き盛り世代において、近年の罹患率に関しての全国順位の低下が注意すべき点である。

宮里委員から、全体を見ると全年齢と同様の傾向だが、働き盛り世代はがんになると、就労支援が大事になるため、そこに関しては当協議会で意識しておくべきではとの意見があった。

4. 膵臓がんの早期発見に対する調査結果及び提案について

増田委員（10号委員）から資料11に基づき、沖縄県における膵臓がんについて説明があった。

島袋委員から、患者団体でも膵臓がんの早期発見率の向上を目指して何ができるかを考えていきたいと思っている。引き続き、各施設のご協力及び協議会の後援をお願いしたいとの意見があった。

玉城委員代理から、尾道方式は検診のエビデンスレベルとしてはまだまだ低い状況である。沖縄県医師会としては、エビデンスの無い状況では予算を投じることがなかなか難しい状況である。ただ、尾道方式を研究ベースとして沖縄県で実施することを立ち上げ、そこでエビデンスを作っていくことが大事なのではないかとの意見があった。

報告事項

1. 患者会よりの報告

(1) 田盛委員報告

田盛委員（18号委員）から資料12-(1)に基づき、やいまゆんたく会（八重山のがん患者を支援する会）の活動について報告があった。

(2) 島袋委員報告

島袋委員（18号委員）から資料12-(2)に基づき、「膵臓がん早期発見セミナーシリーズ2022沖縄」と「北海道支部主催セミナーのご案内」の報告があった。

与儀委員から、乳がんについて知ってもらうため、12月3日にピンクリボンカーニバルin浦添が開催されることについて報告があった。

2. 第4次沖縄県がん対策推進計画（当協議会案）の進捗状況について

増田委員（10号委員）から資料13に基づき報告があった。

3. 医療者調査に関する進捗状況について

増田委員（10号委員）から資料14に基づき報告があった。前は問28までだったが、問31まで3問質問項目を追加している。

4. 大腸がん死激減プロジェクトの進捗状況について

増田委員（10号委員）から資料15に基づき報告があった。

5. 第3次沖縄県がん対策推進計画（2018～23年）の中間評価の進捗状況について

沖縄県健康長寿課の新垣氏から、第3次沖縄県がん対策推進計画（2018～23年）の中間評価の進捗状況について報告があった。今年9月に沖縄県がん対策推進計画検討会を開催しており、各委員からの意見を取りまとめ中間評価報告書を作成し、県のHPで10月末から公開している。

6. がん検診について

沖縄県健康長寿課の新垣氏から、資料16-(1)に基づきがん検診について報告があった。増田委員から、資料16-(2)に基づきがん検診について報告があった。

7. 北部、宮古及び八重山医療圏における疾患別対応状況について

増田委員（10号委員）から資料17に基づき、離島・へき地における疾患別対応状況について報告があった。

8. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

- (1) 第81回がん対策推進協議会
- (2) 第82回がん対策推進協議会
- (3) 第20回厚生科学審議会がん登録部会
- (4) 第47回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会
- (5) 第14回がん診療提供体制のあり方に関する検討会
- (6) 第11回全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会
- (7) 第36回がん検診のあり方に関する検討会
- (8) 第6回がんの緩和ケアに係る部会

増田委員（10号委員）から資料18-(1)～(8)に基づき、厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議について報告があった。

（以下については、紙面報告となった）

9. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

1 1. その他

青木委員から、子宮頸がんの予防ワクチンについて接種率が上がってないため、研修会を開催し周知活動を行っている。委員においても各自治体へ、接種率向上へ働きかけのご協力をお願いしたいとの意見があった。

部会報告事項

1. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料21に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取組状況について報告があった。

2. 小児・AYA部会

浜田部会長から資料22に基づき、小児・AYA部会の活動・取組状況について報告があった。

3. 離島・へき地部会

松村部会長から資料23に基づき、離島・へき地部会の活動・取組状況について報告があった。

4. 情報提供・相談支援部会

大久保副部会長から資料24に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取組状況について報告があった。

以上